

平成24年度 決算認定

一般会計

185億149万円

平成24年度決算額は… (万円未満切り捨て)

一般会計
歳入 185億 149万円
歳出 165億 3,859万円

特別会計

国民健康保険	歳入 61億 5,300万円	歳出 57億 5,417万円
農業集落排水事業	歳入 4億 3,858万円	歳出 4億 858万円
公共下水道事業	歳入 7億 1,705万円	歳出 7億 620万円
介護保険	歳入 36億 2,136万円	歳出 34億 9,718万円
介護サービス事業	歳入 965万円	歳出 680万円
後期高齢者医療	歳入 3億 3,780万円	歳出 3億 3,474万円

水道事業会計

収益的収入	9億 3,290万円	収益的支出	9億 6,705万円
資本的収入	1億 520万円	資本的支出	3億 1,777万円

地方債臨時財政

公債費と基金現在額とあるのですが、合併初年度の基金の正確な金額と公債費、15億6,000万円という報告もあるのをご報告願います。また、桜川市は合併当時4万9,800人、現在4万5,800人。固定資産税・市民税

地方債臨時財政

公債費と基金現在額とあるのですが、合併初年度の基金の正確な金額と公債費、15億6,000万円という報告もあるのをご報告願います。また、桜川市は合併当時4万9,800人、現在4万5,800人。固定資産税・市民税

体育施設使用料

体育施設使用料が、当初予定は124万7,600円だが、実際の調定額は338万1,380円である。昨年度と比較すると調定額623万8,935円、体育館使用料は98万9,355円、

岩瀬駅前駐車料金の現金回収方法

岩瀬駅前駐車料金の現金回収はどのようにしているのか。できるだけ現金を扱わないように、回数券を使うなど工夫できないか。

答 駐車時に随時支払いをする一時駐車場7台分と一定期間利用

たいと思います。岩瀬地区・大和真壁地区、2口に分けて最終的に助成をさせていただいたところ。また、岩瀬支部の資料を出してとのことですが、団体の中のことですので、行政としてはそういうことは関知していません。

問 ほかの議員に実績報告書が出ているのに関知していない。きちんとしているということな

のだから、それを出していただきたい。地域女性会の会長は、きちんと筋を通してほしい。任意の団体に職員が関与するのはおかしい。反省すべきところは反省してほしい。職員が勝手に文書などつくらなくても補助金交付はできたと云っているが、どうなのか。

答 申請書については、担当の課長が持っていましたので、コピーをしてみました。これを見ていただくだけだと思います。

全体も減少している。右肩下がり。経済が苦しいときに基金を増やせた要因は何か。

答 地方債残高ですが、平成17年度一般会計139億7,229万6,000円が起債残高、うち財政対策債が37億5,015万9,000円ということになっています。平成24年度末になりますと、起債残高が15億6,735万8,000円、財政対策債が77億2,090万1,000円となります。全体的には起債残高は17億円ほど増えていますが、財政対策債のような後年度負担が伴わない交付税で100%算入される起債の内容になっていきます。次に基金ですが、合併した17年10月では40億6,989万6,500円。24年度末で、46億4,633万3,104円、増加額が5億7,473万6,454円となります。24年度決算で5億円ほど剰余金から財政調整基金に積み立てています。

税金のコンビニ収納

コンビニエンスストアによる税金の収納は、いつから始めて、どのような増え方をしているのか。

答 平成22年度よりコンビニ収納を開始しています。平成22年度が1万8,075件、収納額2億4,390万円、平成23年度が2万1,905件、収納額3億4,390万円、平成24年度が2万6,477件、収納額3億6,290万円です。

地域女性会補助金

地域女性会運営補助金16万円について、教育長に一般質問でも確かめたが、きちんとやっているということであれば、それなりの一連の事務規定に添った手続上の資料があるので、文書を出していただきたい。

答 先ほどの地域女性会の補助・助成については、答弁したとおり、文書で出すあれではございませんので、ご理解をいただきます。

定期駐車場の料金は月ごとの支払いとなっており、口座引き落とし、または市が発行している納付書で利用者が会計課窓口や金融機関にて支払います。

一時利用駐車料金では、現金を扱わない方法は今のところありません。駐車場への出入り口を機械管理にし、支払いを料金徴収システムに移行することで、料金回収の回数を減らすことは可能ですが、現在検討中です。

水道管の漏水調査

漏水調査を昼間行っているが、夜間に委託し、漏水の発見率を上げたほうがいいのではないかと。

答 漏水の原因は、各個人の給水管の漏水等が多く、各個人の取り出し管に沿ってピンポイントで本管上の漏水調査をするときに、漏水が疑わしい箇所については、個人宅に水を使っているかいないか確認が必要です。そのため夜間では難しい面があり、昼間の車が通らない合間を縫って調査をしているのが現状です。平成24年度では、9万8,700円で調査を依頼し、18件の漏水を発見していますので、3キロメートル調査で1件発見している割合です。

平成24年度決算に関する 大綱質疑

平成25年第3回定例会

8月28日から9月9日までの会期で開催され、平成24年度決算を中心に多岐にわたり審議が行われました。



岩瀬駅前駐車場

収は、休日を除く毎日、職員2名が回収して金額をチェックし、課長・グループ長が料金封筒と現金を確認しています。その後、会計課に一時預けて会計課で預かり証を作成してもらい、週に一度納入伝票を作成して決裁後、会計課に入金しています。

定期駐車場の料金は月ごとの支払いとなっており、口座引き落とし、または市が発行している納付書で利用者が会計課窓口や金融機関にて支払います。

一時利用駐車料金では、現金を扱わない方法は今のところありません。駐車場への出入り口を機械管理にし、支払いを料金徴収システムに移行することで、料金回収の回数を減らすことは可能ですが、現在検討中です。

昨年125万9,150円。運動場使用料が今年度決算は26万9,275円だが、昨年は81万7,000円、それと温水プールは213万1,170円、昨年は416万6,676円ということと比較すると、昨年の約半分ぐらいが調定額である。体育館・運動場・温水プール使用料というのは、前年度の決算資料から大体このくらい入るといえるのは予想される。23年度末から入っていないのでなぜ発見できなかったのか。

答 原因は、職員が現金と台帳の照合確認をしないまま、伝票に添付されていた金融機関の領収書を見ただけで正しいと判断し決裁したこと。着服の手口ですが、調査した結果、全額納入せずに抜き取った額での伝票起票であったということ。1年間、仮に予算が124万7,000円あって、338万1,380円入らないのは、3月時点でわかっているから、6月の議会発表したのは教育長以下全部がルーズだったと言える。返還された金額はどこに入れるのか。

答 23年度・24年度の過年度分が、25年度に発覚したので、雑入の項目以外なので雑入として処理します。